

## 第20回定時株主総会の開催について

平成22年6月22日 午前10時より、沖縄産業支援センターにて開催されました第20回定時株主総会において、下記の通り決定いたしましたので発表いたします。

### 記

#### 1. 第20期(平成21年度)営業報告書・損益計算書・貸借対照表の報告

第20期(平成21年度)の当社は、実証段階に重点を置いた研究開発、また、これら研究成果の事業化を積極的に推進していくため、経営企画室、研究開発部、事業推進部、業務支援部の新たな体制を構築し、県内外の企業や関係行政機関からの各種研究、情報、調査関連事業を受託し、それらを着実に実施した。

また、産学官の緊密な連携を基に新事業創出ならびに地域活性化に寄与する「地域イノベーション創出研究開発事業」、「沖縄イノベーション創出事業」の受託に取り組むとともに、国内に20台程度しかないゲノム解析機「次世代シーケンサー」を用いた先端的ゲノム研究を実施するなど、沖縄県の健康・バイオ関連産業の振興促進の一端を担うことができたと考えている。

一方、これまでの研究開発事業等での経験を活かし、沖縄県が保有する「沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター」の指定管理者業務を平成19年度から受託し、その効果的な運営に鋭意取り組んでいるところである。

さらに、これまでの研究開発事業等で得た研究成果ならびにノウハウを蓄積するとともに、研究成果の事業化にも取り組み、平成19年度を起点として策定した「第二次TTC経営3カ年計画」の実現に向け、具体的な対応策に取り組んできた。

当期の損益については、売上高は、921,161千円、前年度比42,013千円増(約4.8%増)となり、売上総利益を始め、各利益段階において前年度より増加となったものの、販売費及び一般管理費を十分に吸収することができず、前期に引き続き、営業利益段階から赤字を計上する結果となった。

今年度の当社は、「第二次TTC経営3カ年計画」に沿って策定した「平成21年度事業計画」に基づき、県を始めとする関係機関から自立した会社運営の実現を目指し、取り組んできた。

しかしながら、財政支援の縮減を補う形の収益の確保については、まだ十分な対応ができず、結果として、前期に引き続き赤字を計上することになったことは、今後の当社の大きな課題であると認識している。

このような課題解決への対応として、今期から当社の進むべき道と事業領域を改めて見直すとともに、これからの事業展開にふさわしい組織体制の構築に取り組む。

また、平成19年度を起点として取り組んできた「第二次TTC経営3カ年計画」での実績、課題等を踏まえ、「自立する新たな三セク」、「地域産業への貢献」、「人財の育成」を基本方針とした新たな経営計画、「TTC事業再生プラン」の策定に取り組んでいる。

「TTC事業再生プラン」において具体的な取り組み方策を明確にし、それらを積極的に推進することで、単年度黒字化の実現等の経営課題の解決に取り組んでいく。

## 2. 取締役（1名）の選任

平成22年3月31日をもって退任した取締役の補欠として、取締役1名を選任した。

（詳細は別紙参照）

## 第 20 期 貸借対照表

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
<b>流 動 資 産</b>	<b>340,529,805</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>327,968,711</b>
現金及び預金	53,768,853	短期借入金	260,000,000
未収入金	2,091,308	1年以内返済長期借入金	7,300,000
営業未収入金	235,707,267	未払法人税等	950,000
仕掛品	46,665,537	未払金	54,281,864
貯蔵品	520,934	預り金	2,290,147
前払費用	2,244,906	前受収益	3,146,700
貸倒引当金	469,000		
		<b>固 定 負 債</b>	<b>61,529,862</b>
<b>固 定 資 産</b>	<b>315,888,522</b>	長期借入金	51,100,000
<b>有形固定資産</b>	<b>294,936,950</b>	預り敷金	1,339,500
建物	187,669,431	長期未払金	9,090,362
建物附属設備	37,467,402		
構築物	6,968,123	<b>負 債 合 計</b>	<b>389,498,573</b>
機器設備	61,959,330	<b>純 資 産 の 部</b>	
器具工具備品	872,664	<b>株 主 資 本</b>	<b>266,919,754</b>
		資本金	100,000,000
<b>無形固定資産</b>	<b>19,811,952</b>	<b>資本剰余金</b>	<b>207,128,596</b>
電話加入権	2,202,940	その他資本剰余金	207,128,596
ソフトウェア	7,658,418		
特許権等	9,950,594	<b>利益剰余金</b>	<b>40,208,842</b>
		その他利益剰余金	40,208,842
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,139,620</b>	繰越利益剰余金	40,208,842
保証金	161,950		
長期前払費用	431,920	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>266,919,754</b>
出資金	545,750	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>656,418,327</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>656,418,327</b>		

## 第 20 期 損益計算書

(平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科 目	金 額	
売上高		<b>921,161,234</b>
事業収入		643,464,868
補助事業収入		277,696,366
売上原価		<b>835,086,050</b>
<b>売 上 総 利 益</b>		<b>86,075,184</b>
販売費及び一般管理費		113,948,821
<b>営 業 損 失</b>		<b>27,873,637</b>
営業外収益		
受取利息及び配当金	49,074	561,155
雑収入	512,081	
営業外費用		
支払利息	6,643,919	6,712,268
雑損失	68,349	
<b>経 常 損 失</b>		<b>34,024,750</b>
特別利益		0
特別損失		0
<b>税引前当期純損失</b>		<b>34,024,750</b>
法人税、住民税及び事業税		950,000
<b>当 期 純 損 失</b>		<b>34,974,750</b>

# 株主資本等変動計算書

(自：平成 21 年 4 月 1 日 至：平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：円)

	株 主 資 本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合 計
平成 21 年 3 月 31 日残高	100,000,000	0	207,128,596	207,128,596
事業年度中の変動額				
当期純利益				
当事業年度変動額合計	-	-	-	-
平成 22 年 3 月 31 日残高	100,000,000	0	207,128,596	207,128,596

	株 主 資 本				純資産合計
	利益剰余金			株主資本 合 計	
	利益準備金	その他 利益剰余金	利益剰余金 合 計		
平成 21 年 3 月 31 日残高	0	5,234,092	5,234,092	301,894,504	301,894,504
事業年度中の変動額					
当期純利益		34,974,750	34,974,750	34,974,750	34,974,750
当事業年度変動額合計	-	34,974,750	34,974,750	34,974,750	34,974,750
平成 22 年 3 月 31 日残高	0	40,208,842	40,208,842	266,919,754	266,919,754

平成 22 年 6 月 22 日  
(株)トロピカルテクノセンター

## トロピカルテクノセンター役員一覧

代表取締役社長	花 城 順 孝	(前沖縄県企業局長)
代表取締役専務	名 幸 穂 積	
取 締 役	勝 目 和 夫	(沖縄県観光商工部長)
	玉 城 直	(沖縄電力株式会社 取締役電力流通部長)
	新 垣 昌 光	(オリオンビール株式会社 専務取締役)
	辺 野 喜 信	(株式会社沖縄銀行 専務取締役)
	親 川 秀 光	(株式会社沖縄海邦銀行 業務執行役員 総合企画部長 兼リスク管理部長)
	中 村 秀 樹	(琉球セメント株式会社 常務取締役)
	上 間 秀 二	(うるま市経済部 参事)
	富 原 加 奈 子	(株式会社りゅうせき 取締役事業開発本部長)
	呉 屋 守 章	(金秀商事株式会社 代表取締役副会長)
監 査 役	宮 城 匡	(当社常勤監査役)
	玉 城 理	(株式会社沖縄 TLO 代表取締役社長)

については新任。

前取締役 比嘉毅氏は退任いたしました。